



回覧中の注文書について

「果樹・野菜春肥料」「水稻苗種子」「茶苗木」「不用農機具回収」

※ お申し込みのお忘れがないようご注意ください。

※ 「水稻苗」の注文につきましては個別配布となります。

※ 「落葉果樹苗木」「柑橘用被覆ネット」「春馬铃薯種子」をご注文の方はご準備ができしだい、ご連絡いたします。

技術顧問の日 (園芸相談)	農業の専門家が農作業の相談に応じます。※都合により不在の場合があります。
お米の日	神奈川県産の玄米を特別価格で販売します。(毎月第2・第4火曜日) 12月13日・27日となります。
棚卸の日	12月30日(金) 月末(平日)は棚卸のため、13時に閉店致します。 尚、コイン精米機は17時まで営業致します。

年末年始・営農経済センター・グリーンセンター営業のご案内

○年 末 令和4年12月30日(金)13時まで営業致します。

○年 始 令和5年1月4日(水)から営業致します。

グリーンセンター宅配集荷12月の受付日変更のお知らせ

12月の1ヶ月間は、土日および祝日の集荷受付がありませんのでご注意ください。

また、この期間の期日指定・時間指定も取扱できません。

ご不便をお掛けいたしますが、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

年内取扱い終了日は12月23日(金)となります。

【お知らせ】農薬登録の変更について

① ロブラール剤の登録変更

【対象品目】

ロブラール水和剤・ロブラール 500 アクア・ロブラールくん煙剤、ロブドー水和剤

令和4年12月より登録変更となります。これ以降は旧品がなくなり次第新ラベル品で供給されます。流通在庫については「ラベル主義」となりますので、ラベルの表示に従ってご使用ください。

登録変更により、「ロブラール水和剤」は「かんきつ」での使用不可となります。他にも削除された品目がありますので、新ラベル品を購入された際は、表示をよく確認しご使用ください。

② ベルクートフロアブルおよび水和剤の登録変更

ベルクートフロアブル：「だいず」の削除

ベルクート水和剤：「だいず」「てんさい」「小麦」の削除

令和4年10月26日より変更。流通在庫については「ラベル主義」となりますので、ラベルの表示に従ってご使用ください。新ラベル品を購入された際は、表示をよく確認しご使用ください。

※変更内容の詳細については最寄りの営農経済センターへお問合せください。

【お願い】農薬は適正に使用しましょう！！

県内農産物において、農薬残留基準値超過事案が発生しています。（当 JA 管内ではありません。）定められた使用基準を守らない場合は「農薬取締法違反」となりますので、ラベルをよく確認し使用方法を守り生産履歴の記帳に努め安心安全な農産物の生産をお願いいたします。

～農薬事故はこうして起こる！発生事例～

収去した作物から適用のない農薬を検出（残留基準値超過）

→当該の作物には直接散布していないが、前日に他の作物に使用した散布器を洗浄不足のまま使用した。（ホースは洗浄するが、タンクを洗う習慣がなかった。）

→当該の作物には直接散布していないが、隣接する他の作物に散布した農薬が飛散（ドリフト）した。

上記のようなことが原因となり農薬事故が起こります。農薬の登録を守って使用することはもちろん、散布器具の洗浄は念入りに、ドリフトには十分注意しましょう。同じ畑で複数の作物を栽培している場合や、圃場同士の距離が近い場合などはさらにドリフトの注意が必要です。

～ 作物管理情報 ～

【キウイフルーツ】

整枝剪定 12月下旬～2月上旬（樹液の流動が始まる前に終了しましょう。）

一文字整枝を基本に亜主枝は2～3m間隔で配置します。高樹齢樹は樹がいたむため亜主枝の更新は避けましょう。古い亜主枝でも葉数を確保し維持しましょう。

古い側枝（結果母枝）は先追いしないよう、亜主枝、主枝に近づける、切り戻し更新を行いましょ。

結果母枝は、充実した新梢と本年の結果枝を併用し配置します。春の風害を想定し、やや多めに残しましょう。大きい切り口（500円硬貨程度）にはトップジンMペーストを塗布しましょう。

病害虫防除 11月下旬～12月中旬

かいよう病 ICボルドー-66D 50倍 2kg / 水 100ℓ

土壌管理 11月～2月

土壌改良剤として、苦土石灰の施用をしましょう。 100kg～200kg / 10a

————— 【温州みかん】 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょ。 —————

収 穫 丁寧な収穫作業と貯蔵の管理を徹底しましょう。

貯蔵みかんの品質のバラつきをなくすため、果実の着色状況に応じて、2回以上に分けて収穫しましょう。収穫適期を逃して、浮皮果にならないように注意して下さい。

※収穫の目安 ○大津四号 ⇒ 完全着色
○青島温州 ⇒ 8分色以上

果実管理

通常予措：コンテナ8分目ほどに軽く入れて、通気の良い貯蔵庫下屋等で10～15日間乾燥した空気にさらします。総量の5%程度の減量(しおれ)が目安です。(果皮がややしなびて弾力を持つ程度)

高温予措：着色促進と減酸を目的に、収穫直後に20℃で7日間果実を保温しておく。果実の傷からくる腐れが早いので、再度選果をしてから貯蔵・出荷をしましょう。

貯 蔵

予措終了後、温度3～5℃・相対湿度85%を目安に貯蔵します。朝夕の換気と定期的に点検で腐敗果を取り除きましょう。また、0℃付近になると低温障害をおこすので、寒波時は貯蔵庫を密閉しましょう。

病虫害防除等 収穫後の12月下旬～1月中旬(厳寒期の散布は避けましょ)

○ミカンハダニ アタックオイル 60倍 1.66ℓ/水100ℓ **又は**
○ヤノネカイガラムシ ハーベストオイル 60倍 1.66ℓ/水100ℓ

* 散布量は10aあたり500～600ℓを目安に、たっぷり散布ましょ。
(病虫害多発生の主な原因は、密植と薬剤のかけムラです。)

————— 【中晩柑】 —————

防寒・鳥害対策のため、袋かけやネット被覆を実施ましょ。園地や品種により差がありますが、1月中旬までには終了するように作業ましょ。

————— 【う め】 —————

冬季剪定 11月～12月

縮間伐と骨格作りを重視して主枝を配置し、内向枝・平行枝等の切除をましょ。

※ツボミを傷めないように、年内にノコギリ剪定(太い枝の処理)を終了させましょ。

1月下旬までに細部の剪定作業(整枝・剪定)を終えましょ。1年枝は全部取らず横から出ている弱い枝は残しておきましょ。

病虫害防除 12月下旬～1月上旬(開花前)

カイガラムシ類・越冬病虫害 石灰硫黄合剤 7倍 14.2ℓ/水100ℓ

コスカシバ フェニックスフロアブル 200倍 開花期まで1回 500ml/水100ℓ

————— 【お 茶】 —————

老朽茶園の改植準備

生産性の向上と良質茶の生産をはかるため、老朽茶園を改植することが必要です。

改植は抜根、天地返し、地ならしを計画的に行いましょ。その場合、石灰窒素をあらかじめ10aあたり80kg程度散布し、有機物の腐植化をはかりましょ。

【水 稲】

土づくり

水稻が健全に生育するために、「堆肥・ワラ等」の有機物やケイカル等の土壌改良剤を計画的に施し、地力を増進する必要があります。

○有機物の施用

ワラの場合 収穫後年内までに全体に広げ、深耕（15センチ以上）しておきましょう。

完熟堆肥の場合 10月から2月に全体に施し深耕しておきましょう。（500～1,000kg/10a）

○土壌改良剤の施用 ケイカル 100kg/10a 又は ようりん等

雑草防除

冬季にできる水田の雑草防除

冬季に耕耘することにより除草効果を期待することができます。多年生雑草の塊茎や根茎は低温や乾燥に弱いので、冬季の耕耘が防除に有効です。特にミスガヤツリ・クログワイ・オモダカなどの多い水田では反転耕により凍結枯死させられるので除草効果が高くなります。耕耘作業は年内までに一度は必ず行いましょう。

スクミリンゴガイ対策

管内でスクミリンゴガイ（別名：ジャンボタニシ）の発生が確認されております。発生した水田では耕耘を行い、貝を傷つけ越冬させないようにしましょう。

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

水稻栽培講習会の開催について

～来年に向け準備を！～

下記のとおり講習会を開催いたします。ぜひご参加ください。

1. 日時・会場

日付	時間	会場
12月23日（金）	10：00	開成事業所3階 大会議室 （開成町吉田島2000）
	14：00	本店3階 第2・第3会議室 （小田原市鴨宮627）

2. 対象者 JA かながわ西湘管内組合員（水稻栽培者）

3. 内容 （予定 全日程共通）

①来年の栽培に向けて ②病害虫・雑草防除について③その他

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止につき、長時間の密集を防ぐため講習時間は1時間程度とさせていただきます。また、発熱や風邪の症状がある方は参加をお控えください。

4. 講師 農業技術センター

5. 申込 12/16（金）までに営農部営農指導課または最寄りの支店・センターまでお申込みください。

※ 全日程同じ内容ですので、希望する日程にご参加ください。

（お問合せ）

JA かながわ西湘営農部営農指導課

TEL：0465-46-6950